

# 経済法

河谷清文 編著, 中川寛子 = 西村暢史 著

**担当編集から** このたび、有斐閣ストゥディアシリーズに経済法が仲間入りをしました！

本書が成る過程では、先生方それぞれが読者にとっての「わかりやすさ」をことごとく追求し、シリーズのほかの分野に勝るとも劣らず、楽しく学習することができるよう工夫をいただきました。

たとえば、経済法に関連する現象を会話形式で取り上げることで、経済法をより身近にイメージしながら学習をすることができます。また、随所に図表が用いられており、これにより複雑な内容であってもひとつひとつときほぐされながら思考が整理され、経済法の考え方を効率よく身に付けることができるようになっていきます。37個のコラムでも経済法の面白さを感じてもらえることでしょう（210頁の35は特におススメです）。

経済法を初めて学ぶ方にも、学習済みだけでもモヤモヤを感じている方にも、ぜひ読んでいただきたい1冊になっております。（井植）

**Point** 経済法が楽しく学べることを感じてください！

## 1 基本となる価値観

1 競争はお嫌いですか？

とある教室。先生と学生たち。

先生：とつぜんですが、質問です。「あなたは、いま、自由ですか？」

学生A：いきなりそんなこと聞かれても、ちょっと答えにくいですが……。まあ、五体満足だし、病気もしていないので、不自由というわけではありません。

学生B：自分は、新型のスマホに買い換えたいんですけど、納期お盆出してくれないし、自分はそんなお金ないから困るんですけど。

あと、この前、数量限定で人気キャラクターのグッズが発売されて、自分もそれほしくて発売日に曲に行ってみたんですけど、何日も前から徹夜で並んでた人たちがいて、もうそれだけで売り切れてしまって、結局、買えませんでした。

だから、自分は自由じゃないと思います。

学生C：そういう感覚じゃ無いと思うけど。

でも、そういう私も、自由ではありません。受験に失敗して、行きたかった大学に進学できなかった。本当はこの授業だって好きなのにけど、学費を親に払ってもらったし、卒業して就職するから単位も必要なので、しかたなく出ています。

先生：あら、それは残念ですね。でも、まあそう言わず、せっかくだからキャンパスライフを満喫していきましょう。

それはともかく、次の質問です。「あなたは、自由になりたいですか？」

学生A、B、C：はい！ 当然です！

先生：おっ、回答です。では、「あなたは、競争したいですか？」

学生C：私はさっき言ったように、受験で競争に負けてここにいるわけで、もう競争なんかしたくありません。勝つのも負けるのも、もうごりごりです。

学生A：競争で、自分が誰かと比べられるのは、ちょっと嫌です。

学生B：徹夜で別に並ぶなんて競争も、おかしな気がします。そんなの、ちゃんと毎日、仕事に行ったり、学校に行ったりしたら、勝てるわけじゃないじゃない

すか。

先生：なるほど〜、やっぱり、「自由」は好きでも、「競争」は嫌いなんですな。でもね、自由と競争は、表裏一体なんです。「自由」と「競争」は同じ意味なんです。

学生A、B、C：え〜っ???

## 2 国家から自由になれば、私人間で競争が生じる

上の会話は、少し誇張されたものですが（もちろん、フィクションで）、こんな感じに考えている学生も多く見られます。「争」の字が、競争をイメージさせるのでしょうか？ それとも、日本は「和を以て貴しとなす」(和を尊ぶ)という伝統の国だから、日本人には競争がなじまないのでしょうか？ 実際、「競争」という言葉は、江戸末期に福澤諭吉が英語の文脈を翻訳したときに作った言葉で、それまで日本にはなかったそうです。翻訳した「競争」という文字を見た幕府のお役人の反応も、ネガティブなものだったそうです（福澤諭吉の自伝である「西洋事情」にそう書いてありました）。

**POINT**

一般的には、自由 = スキ、競争 = ケライ

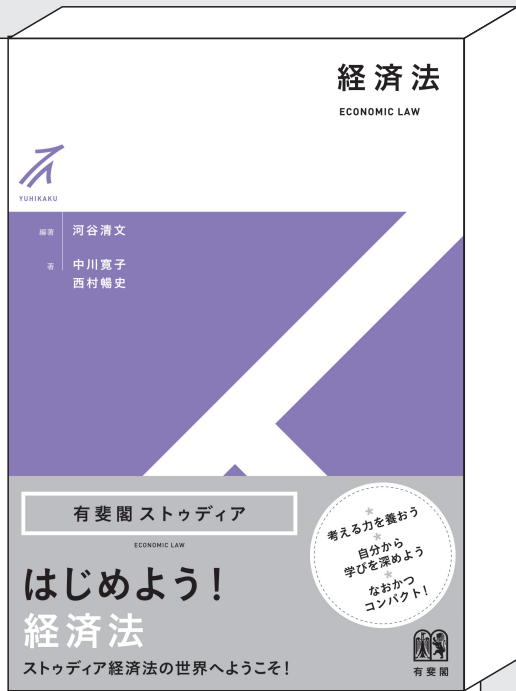
でも、ホントは、自由 = 競争

なぜなら、自由 = 国に制限されないこと

自分も他人も自由なら、競争が生じる

自分 ← 競争 → 他人

レアアイテム、進学先、客など



レベル - 用途 - 対象 -

初級 学習 学部

2023年9月発売 / 254頁 / 定価2420円(税込)  
A5判 / 並製



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。

